

南高 同窓会会報

発行所
四日市市大字日永字岡山
三重県立四日市南高等学校
同窓会
TEL.059-345-3177
www.4nan.jp/dousou/



ご挨拶

会長 早野憲一郎

同窓会の皆さまには、日ごろから母校に対して多大なるご支援とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

昨年度60周年を迎えた本校は、令和元年度からまた10年、20年と新しい歴史を刻んでいくこととなりました。皆さんと共に新しい時代を迎えるにあたり、南高同窓会としてこれからの社会にできることを考えたいと思います。

本年度の東京大学入学式で社会学者の上野千鶴子さんが祝辞を述べられたことは皆さんの心にも残っていることと思います。祝辞では、社会にはびこる差別、特に性差別について述べられました。しかし、これは女性への差別に限られたことではないということは皆

さんも感じられたことと思います。それは、この祝辞が多くのメディアで取り上げられ、様々な立場の人によって議論されたことから分かります。

ここで、祝辞の一部をご紹介します。

「がんばったら報われるとあなたがたが思えることそのものが、あなたがたの努力の成果ではなく、環境のおかげだったことと忘れないようにしてください。あなたたちが今日「がんばったら報われる」と思えるのは、これまであなたたちの周囲の環境が、あなたたちを励まし、背を押し、手を持ってひきあげ、やりとげたことを評価してほめてくれたからこそです。(中略)あなたたちのがんばりを、どうぞ自分が勝ち抜くためだけに使わないでください。恵まれた環境と恵まれた能力とを、恵まれないひとびとを貶めるためではなく、そういうひとびとを助けるために使ってください。そして強がらず、自分の弱さを認め、支え合って生きてください。」

残念ながら、今の社会はすべて

の人にとって平等な機会が与えられているとは言えません。社会には性差別だけでなく、年齢、国籍、障がいなど理不尽だと感じる不平等も存在しています。多くの人は学生の時にはそのことに気が付かないかもしれません。だからこそ、恵まれた環境だといえるでしょう。

南高校を卒業されたみなさんは「がんばってきた人」「がんばっている人」であると思います。がんばることができた環境に感謝し、そのがんばりを自分のためだけでなく、ぜひ人のために使ってください。そして、自分の弱さを認めることも「強さ」です。人は一人で生きていくことはできません。だからこそ支え合って認め合って生きていきたいと思えます。それが、がんばった人、がんばっている人が報われる社会につながるのではないのでしょうか。

南高校同窓生として、誰かのためになるようなことができる人であってほしいと願っています。もちろん、私もそうでありたいと思っています。

最後になりましたが、会員の皆さまの今後一層のご健勝とご活躍を心からお祈り申し上げますと同時に、南高校同窓会のさらなる発展に向けて、ご支援ならびにご協力をお願い申し上げます。



ご挨拶

学校長 加藤幸弘

私たちの登城が丘の学び舎四日市南高等学校は、昨年度、創立六十周年を迎えました。すなわち、六十年の伝統の前半三十年が昭和、後半三十年が平成の元号と重なることとなります。そして今春、六十一期生の入学とともに令和が始まり、南高はまた新たな歴史を作るための歩みを踏み出しました。時まさに、社会の大きな変化を踏まえた高大接続改革が進もうとしています。

現高校二年生が受験する二〇二一年度入試から、三十一年間続いた「大学入試センター試験」は「大学入学共通テスト」へと改まり、思考力・判断力・表現力が一層重視されて国語と数学で記述式問題が導入されます。英語では、四技能(読む・聞く・話す・書く)を適切に評価するために民間試験が活用されるようになります。また、国公立大学での推薦入学等の割合が、現在の二倍以上の約三割となる方向です。これらは、すべ

て、ペーパーテスト中心の入試から、志や人間性がより大きく問われる入試へと改革が行われることを意味します。

四日市南高等学校は、六十一周年の歩みの中で、「高い志と豊かな人間性を育てる」ことを柱に、学業とともに、学校行事・部活動・生徒会活動・ホームルーム活動・人権学習・キャリア教育等を大切にして、コミュニケーション力・向上心・思いやりなど、社会で必要とされる力を育み続けてきました。また近年は、大学、企業、行政、「四日市の交通と街づくりを考える会」等のNPOと連携した探究学習を積極的に展開し、注目を集めています。これらは、本校が伝統の中で進化し、新たな社会が必要とする人材を育て続けていることを意味します。

この間、同窓会の皆様には、社会で活躍する卒業生の生徒向けOB講演会への派遣、県の予算で賄いきれない備品の設置等にかかり、物心両面の心温まるご支援をいただき続けており、あらためて厚く感謝申し上げます。

四日市南高等学校がますます充実・発展しますよう、教職員一同引き続き努めて参りますので、今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお祈り申し上げます。

OB Lecture

OB講演会

2年生を対象に様々な職業の同窓生による講演会が行われました。

令和元年7月8日

立命館大学文学部現代東アジア言語・文化専攻准教授

金津日出美氏(26期)

「ひとと向き合うことを仕事に」をテーマにご講演頂いた。

「講義(準備を含む)」「研究・調査」「研究会・学会発表」「論文・著書執筆」等の大学教員の仕事は、いずれも「大学生・大学院生」「論文・書籍・史料」「研究者」「読者」といった人と出会い、向き合う仕事であるということ。また、中国・韓国での勤務経験や、担当プログラムの学生との交流の話を通じて、人との出会い、交流の大切さをお話し頂いた。

最後に「地道な努力が大切!」「どうしてだろう?と思ったことは、そのままほうっておかない!」「おもしろそうだと思ったことには、とりあえず飛び込んでみる!」という好奇心や挑戦の大切さを訴えるメッセージを頂いた。



金津日出美氏

日本旅行株式会社

四日市営業所 営業課長

曾根尚次氏(26期)

「10000円の旅行・100万円の旅行 満足できるのは?」をテーマにご講演頂いた。

旅行の仕事を選んだ理由や、仕事を通して嬉しいと感じた出来事、旅行にはつきもののトラブルについてお話し頂き、何か起こった場合に、どう乗り越えるかの対処の仕方は、部活動や勉強の中での経験や失敗が役に立つと力強く語られた。生徒達が「10000円の旅行」と「100万円の旅行」を考える活動では、旅行者の希望に添うものかどうかで満足できるかできないかが決まると教えて頂いた。

最後に、「相手が喜ぶことをやってみよう、そして素敵な大人になつてほしい、悔いの残らない高校生活を過ごして、日本、世界をリードできる人になつて下さい」と熱いメッセージを頂いた。

株式会社O・G・O E 代表取締役

杉山 豊氏(31期)

杉山氏の経歴とともに高校から現在に至るまでの人生訓をライフステージごとに紹介された。高校

では「モチベーションをどう維持するか、ピークを合わすか」大学では「人との接点をもつこと、経験値を増やすこと」が挙げられた。

氏は四日市内で就職するも社長になるために辞めて、起業する。最初の給料は月5万だが、とても嬉しかったと述べる。社会に出ていくにあたり、「やりたいこと(最高)とやりたくないこと(最悪)を考え、どうありたいかという理想像を自分に問うことが大切だ」と述べる。

また、希望する未来に対して、複数のアプローチをもち努力を惜しまない。だが失敗しても腐らせずに次に挑戦する。「高校生活をどう送るか」という生徒からの質問に対して、OBとして力強いエールを頂いた。



杉山 豊氏

HATAKEYA

川崎麻里氏(44期)

農業という分野を超えて興味あることから世界を広げていく楽しさについてご講演頂いた。「皆は何になりたい?私は、自

然の中に身を置いていたい。」という問いかけから始まり、海外ボランティアでの経験や出会いについてお話し頂いた。

「生きていく中で、興味のある事を追い求め、知ることが世界が広がっていき、やりたいことが寄ってくるようになった。」「進路選択とは興味のあることに向かつて行動することで道が開けていく」という生徒達の心に響く、メッセージを頂いた。

三重県水産研究所

沿岸資源増殖研究課

主幹研究員兼課長代理

竹内泰介氏(31期)

大学・民間・行政での研究者の違いや三重県の水産技師の仕事について、具体的なお話を交えてご講演頂いた。アカモクという厄介者扱いだった海藻の有効利用を考えるために古文獻を調べて食用への利用を提案していること、黒潮を観測することによりピンポイントで漁場を割り出す方法など、専門的でありながらたいへん興味深いお話を頂いた。

また、私の進路選択履歴という内容で、大学卒業後2年間、本当に自分のやりたいことを考える時間を過ごしたこと、研究・知識を通じて世の中の役にたちたいと考えていること等をお話し頂き、

「1. とりあえず決めて、一生懸命やってみよう。2. 悩んだら投げ出してもいい別のことをしてみよう。3. 必要のない知識はない」というメッセージを頂いた。

三重県工業研究所

プロジェクト研究課

松岡敏生氏(26期)

「理系キャリアの活かしかた、活かされかた」をテーマにご講演頂いた。工業研究所は、独自の研究や、中小企業からの相談を受けて研究開発等のお手伝い等をしている。公務員を選んだのは、企業の枠に囚われずに研究ができると思ったから。

理系の面白さは、それまでなかったことが新しくでるところ。就職した頃は、繊維関係の研究だったが、産業そのものが縮小したかわりにAIや人間工学の研究が盛んになった。理系の有利なことは、実験をし実務をするところ。視覚、聴覚、触覚を使ったスキルはとても大切で選択肢を増やす。知識や情報は溢れているが、ネット等の情報はすぐに消えていく。やはり、専門書を読むことは必要。端のほうに小さく書かれていることが重要なこともある。将来の姿をイメージし、専門をみつける努力をすることが大切と締め括られた。

教育実習

Teaching Practice

今年も教育実習が行われました。第55期生の方々に感想をお聞きしました。

鎌田有美桂 (体育) 55期

上手いかないことばかりでしたが無事に終わることができて良かったです。体育の授業では、生徒が主体的に取り組める活動を考える難しさを学びました。

また、生徒にうまく指示や説明が伝わらず苦労しました。部活動では、どんな時も全力で頑張っている生徒を見て、「自分も頑張ろう」と元気をもらいました。これらの経験を今後活かしていきたいです。ご指導くださった先生方、本当にありがとうございます。

岩谷優花 (音楽) 55期

生徒の前で授業をしてみても、生徒と直接関わることの難しさ、クラスごとで反応や進行具合が異なり臨機応変に対応をしなければならぬことの大変さを実感しました。体育祭では、クラスの生徒が協力し合って頑張っている姿には本当に感動しました。

この経験をいかし、教員になるために頑張っていきたいと思えます。指導して頂いた先生方、生徒のみなさん本当にありがとうございます。

いました。

吉川綾美 (英語) 55期

母校で教壇に立たせて頂いたことを光栄に思います。毎日夜遅くまで授業のアドバイスをしてくださった先生方や、真剣に授業を聞いてくれた南高生に感謝の気持ちでいっぱいです。実習では「生徒と共に授業を作る」ことの大変さや難しさを実際に経験することができ、教師のやりがいや楽しさを感じました。

また、先生方がどれほど生徒のことを考えて授業してくれていたのか気づくことができました。生徒に何か大切なものを残せる、そんな教師になりたいと思いました。

坂下奨悟 (生物) 55期

実習を通して学習内容を正しく授業することだけでなく、生徒と関わり合うことも大切であると学ばせて頂きました。何度授業準備をしても計画通りに授業を進行させることは難しく、自分の未熟さを感じました。

また、体育祭とホームルームでは授業時間外の生徒達の様子を観

察し、教員として関わり合える貴重な時間を体験させて頂きました。南高校の全ての先生方、生徒の皆さんありがとうございます。

桜木隆伍 (数学) 55期

高校時代にお世話になった先生方の授業を見学させて頂き、何を理解させようか悩んでいたのが明確な授業に、生徒の時とは違った印象を持ちました。実際に授業を行ってみると、初めは自分が思っていた以上にうまくできず不安を感じましたが、多くの先生方からアドバイスを頂き、少しずつ余裕を持ちながら授業ができるようになりました。

体育祭では生徒達が協力して取り組む姿、目標を達成した時に喜ぶ姿を見て、元気をもらいました。教師は生徒が成長する姿を間近で見ることができ、とても魅力的な仕事だと再確認できました。

村上健人 (数学) 55期

初めは生徒とうまく話すことができませんでしたが、生徒とのかわりは元気を与えてもらえ、とても楽しく、教師という仕事の魅力を改めて感じる事ができました。授業を受ける側から教える側に立つてみると、四十五分という時間がとても短く感じました。限られた時間で伝えたいことを

伝えるのはとても難しいのだと実感しました。この実習で学んだことを、今後教師を目指す上で活かしていきたいと思えます。

土肥健二 (数学) 55期

実習で感じたことは、教師の大変さ、高校生の若さ、四日市南高校の明るさである。生徒の時は先生方の仕事について何も考えることはなかったが、授業をどのように行うかを朝早くから夜遅くまで考え、その合間を縫って部活動の指導をしていると考えると感嘆する気持ちになった。生徒達にはとにかく若さを感じた。

体育祭では、朝から終わりまで常に元気で写真を撮ったり友達と冗談を言ったり、私が三年間忘れていたものを思い出させてくれた。楽しい実習をさせてもらい、母校が南高で良かったと感じた。

榎田 菜 (音楽) 55期

初めは不安でいっぱいでしたが、丁寧に指導をしてくださる担当の先生や積極的に話しかけてくれる生徒の皆さんのお陰で楽しみながら実習を行うことができました。

授業では、生徒がどの程度音楽についての知識や経験があるのかわからず、どこまで説明をすればいいのかすごく悩みました。先生方は授業を重ねることに細かい修正をされていてとても勉強になりました。ご指導いただいた先生方、生徒の皆さん本当にありがとうございました。



後列左より
土肥健二 (数学)、廣瀬拓人 (物理)、小林恵人 (政経・現社)、桜木隆伍 (数学)、村上健人 (数学)

前列左より
鎌田有美桂 (体育)、岩谷優花 (音楽)、吉川綾美 (英語)、榎田菜 (音楽)、坂下奨悟 (生物)

これから教育実習を希望される予定の皆さんへ

教育実習の申し込み期間は、実習年度の前年の4月10日から5月15日です。その間の平日に、事前に総務部と連絡を取り、本人が直接来校して手続きをしてください。

躍進する部活動

バスケットボール部

今年度は男子部21名、女子部16名で活動しています。男子は選抜、新人、総体すべて地区5位で県大会に出場しましたが、2回戦を突破することができませんでした。女子は県大会出場は成りませんでした。

興味を引き出すことに成功しました。この成果を生かして7月末の三重県高等学校演劇大会北勢地区大会で上位入賞を目指します。今後とも演劇部の活動のご支援をよろしくお願い申し上げます。

電算無線部

電算無線部は、今年度、3年生7名、1年生4名の計10名で活動しています。毎週水曜日に情報室に集まり、新入生に見せる部活動や体育祭の紹介ビデオ、中学生見学会で上映する学校紹介ビデオなどの作成を行っております。また、本年度は文化祭に向けてイラスト部と合同でアニメーションの作成を行うなどの活動しております。

5月末に開催された県高校総体では生徒たちがよく頑張り、女子やり投においては6位に入賞し、見事東海大会出場を果たしました。

音楽部

昨年度は、県のコンクールの他、敬老会の招待演奏、地域行事へ参加など、たいへん充実した一年でした。中でも、二月のアンサンブルコンテスト県大会では、出場した2チームがともに金賞を受賞し、全国大会出場の機会をいただきました。とても素晴らしい経験を積むことができました。今年はやや少人数編成となりましたが、美しく豊かなハーモニーを目指し、日々賑やかに練習に励んでいます。

現在21名の部員で「人のため、世のためになる社会貢献活動」をスローガンに校内外のボランティア活動を行っています。昨年度は、「四日市まちづくり」イベントやプロボノ活動、中高生防災サミットなどに参加しました。

文芸部

部員7名で個々に創作活動を行い、部誌作成に取り組み等、自分達で活動内容を考え、主体的に活動しています。また、県内の文芸部員との交流会や学習会に参加する等、校外での活動にも積極的に参加しています。

それ以外にも毎年、ロータリークラブ主催のイベント、西日野駅への花プランター設置、四日市あすなろう鉄道や地元の祭りを応援する取り組みを行い、人間性や社会性を磨いています。

今年度は「散文」「俳句」の二部門で、三重県代表として佐賀県で開催される全国高等学校総合文化祭にも参加します。

今年度は5名の新入部員を迎え、2年生と併せて10名で活動を始動しました。6月に他校との合同公演に参加し、新入部員の隠れた持

今年度は「散文」「俳句」の二部門で、三重県代表として佐賀県で開催される全国高等学校総合文化祭にも参加します。

陸上競技部

6月に3年生の多くが引退し、現在は男女合わせて約20名の部員で活動しています。部員数は少なめですが、2年生を中心によくまとまり、自己記録の更新や上位大会出場を目指して意欲的に活動しています。

今年度、15名の新入部員を迎え、30名程の人数で活動しています。県大会で、男子は団体戦ベスト8、女子は団体戦ベスト16を目標に、日々、練習に励んでいます。部活動を通じて、仲間との絆や感謝の心を養いつつ、限られた時間を有効に使用して、目標を達成できるように取り組んでいます。ご支援をよろしくお願いいたします。

6月から新チームを結成してスタートしました。練習時間が少ないからこそ、やらされる練習ではなく自分達の頭で何を今すべきか考えてプレーすることを意識しています。また、親や環境のおかげで部活ができること、コートに仲間がいることに「感謝」を忘れずに楽しんで日々取り組んでいます。

インターアクト部

インターアクト部は、現在21名の部員で「人のため、世のためになる社会貢献活動」をスローガンに校内外のボランティア活動を行っています。昨年度は、「四日市まちづくり」イベントやプロボノ活動、中高生防災サミットなどに参加しました。

3年生が引退しても男女合わせて70人余りの大所帯です。これは本校だけでなく県内の高校のバドミントン人口は増え続けています。問題は練習場所です。毎日体育館が使用できるわけでもなく、朝練や学校以外の体育館も使用して何とか練習時間確保に努めています。人数が多いだけとは言われな

現在部員は、3年男子3名、2年男子2名、女子1名、1年生男子3名の計9名で活動をしています。昨年度より部員が増えたこともあり、週に2日という限られた時間ですが、主な大会に向けて、質の高い練習対局をしています。

バドミントン部

3年生が引退しても男女合わせて70人余りの大所帯です。これは本校だけでなく県内の高校のバドミントン人口は増え続けています。問題は練習場所です。毎日体育館が使用できるわけでもなく、朝練や学校以外の体育館も使用して何とか練習時間確保に努めています。人数が多いだけとは言われな

今年度、15名の新入部員を迎え、30名程の人数で活動しています。県大会で、男子は団体戦ベスト8、女子は団体戦ベスト16を目標に、日々、練習に励んでいます。部活動を通じて、仲間との絆や感謝の心を養いつつ、限られた時間を有効に使用して、目標を達成できるように取り組んでいます。ご支援をよろしくお願いいたします。

6月から新チームを結成してスタートしました。練習時間が少ないからこそ、やらされる練習ではなく自分達の頭で何を今すべきか考えてプレーすることを意識しています。また、親や環境のおかげで部活ができること、コートに仲間がいることに「感謝」を忘れずに楽しんで日々取り組んでいます。

サッカー部

男子サッカー部・女子サッカー部として、それぞれ活動しています。部員数は、男女を合わせると

今年度、15名の新入部員を迎え、30名程の人数で活動しています。県大会で、男子は団体戦ベスト8、女子は団体戦ベスト16を目標に、日々、練習に励んでいます。部活動を通じて、仲間との絆や感謝の心を養いつつ、限られた時間を有効に使用して、目標を達成できるように取り組んでいます。ご支援をよろしくお願いいたします。

今年度、15名の新入部員を迎え、30名程の人数で活動しています。県大会で、男子は団体戦ベスト8、女子は団体戦ベスト16を目標に、日々、練習に励んでいます。部活動を通じて、仲間との絆や感謝の心を養いつつ、限られた時間を有効に使用して、目標を達成できるように取り組んでいます。ご支援をよろしくお願いいたします。

バレーボール部

男子部員19名、女子部員20名で

今年度、15名の新入部員を迎え、30名程の人数で活動しています。県大会で、男子は団体戦ベスト8、女子は団体戦ベスト16を目標に、日々、練習に励んでいます。部活動を通じて、仲間との絆や感謝の心を養いつつ、限られた時間を有効に使用して、目標を達成できるように取り組んでいます。ご支援をよろしくお願いいたします。

今年度、15名の新入部員を迎え、30名程の人数で活動しています。県大会で、男子は団体戦ベスト8、女子は団体戦ベスト16を目標に、日々、練習に励んでいます。部活動を通じて、仲間との絆や感謝の心を養いつつ、限られた時間を有効に使用して、目標を達成できるように取り組んでいます。ご支援をよろしくお願いいたします。

囲碁・将棋部

現在部員は、3年男子3名、2年男子2名、女子1名、1年生男子3名の計9名で活動をしています。昨年度より部員が増えたこともあり、週に2日という限られた時間ですが、主な大会に向けて、質の高い練習対局をしています。

剣道部

剣道部は現在、1年生4名を迎え、男子5名女子4名、合わせて9名で活動しています。今年の高校総体(三重大会)では、男女とも団体戦に出場し、男子は二回戦へ進出することができました。また、個人戦では男子生徒が、三回戦まで勝ち進むことができました。これからも頑張っていきたいと思います。ご支援よろしくお願致します。

硬式テニス部

今年度の高校総体・団体戦は、男子は三回戦敗退、女子は一回戦敗退という結果となりました。新一年生が多数入部し、気持ちも新たに元気よく練習しております。練習時間や活動場所に限りがあります。上位入賞を目標に努力を続けていきます。今後ともご支援よろしくお願致します。

硬式野球部

「意志あるところに道は拓ける」という理念のもとに、甲子園初出場という目標を掲げ、活動しています。「自分自身がどうなりたいか」を明確に持ち、受け身ではなく、その意志を発信することで目標に近づいています。私たちにしかできない、組織力、戦術、そしてつながり。それらを磨き続けて

いきます。ご支援よろしくお願致します。

柔道部

嘉納治五郎により明治時代に創始された「柔道」。精力善用と自他共栄の教えは高い教育的価値を認められています。近年二極化が進み、小学生の頃から勝利を目指す柔道エリートがいる一方高校生ともなると「危険」「痛い」「しんどい」ことを避ける傾向が強くなり、柔道離れも顕著になっています。南高校柔道部も部員の減少傾向に歯止めがかからない状態ですが、嘉納治五郎の教えに従い、勝つことのみを追求するのではなく、よりよい人間形成を目的として日々精進して参ります。

吹奏楽部

3月24日に開催させて頂きました第31回定期演奏会には、約1000人のお客様において頂きました。多くの先輩方のご協力により、無事終了することができました。ありがとうございます。本年度、35名の新入部員を迎え、部員一同、コンクールやコンテストでベストを尽くし、豊かな音楽を奏でたいと思います。ご協力をよろしくお願ひ申し上げます。

卓球部

県総体で3年生が引退し、現在は男子15名、女子8名で活動しています。高校から卓球を始めた現2年生も試合デビューを果たしています。自律心を持ち、自分達で考えながら、目的のある主体的な練習ができるよう心がけています。数年前には、団体で東海大会に出場したこともありました。自分

たちにも可能性はあるはず、という気持ちで努力し、成長していきたいと思えます。

家庭部

今年度は3年生5名、2年生1名、1年生6名の12名で活動しています。普段は3年生を中心に、自分達でメニューを検討し、実習を行って行っています。自分で作るの難しいと思われるものが失敗なく出来たときは、とても嬉しいです。毎年、南高祭で飲食販売を行い、好評を頂いています。近年、部員数が少なく飲食販売の規模を縮小せざるを得ない状況ですが、今年も出来る範囲で頑張ります。

茶道部

今年度は1年生5名、2年生11名、3年生7名の計23名で、毎週水曜日の

放課後、作法室(和室)にて活動しています。羽木千鶴子先生に表千家のお点前をご指導頂いています。毎年、南高祭では立礼棚を用いた茶席を設け、浴衣姿でおもてなしをしています。正座の苦手な方でも気軽に一服して頂けるよう椅子席にしており、部員たちの日頃の成果を是非見いらしてください。

美術部

今年から美術部とイラスト部が合併し「イラスト・美術部」となりました。部員数は現在17名。活動は以前のまま「美術」「イラスト」それぞれで行っています。「美術」の活動は、南高祭・みえ高文祭・北勢地区展等の大きな展示会に向けての制作・展示を中心とし、部活を通してそれぞれの個性を伸ばし、自身の目標に向け挑戦・発想力を身に付ける事を重視しています。是非、覗きにきて下さい。

箏曲部

箏曲部は現在3年生13名、2年生21名、1年生4名の計38名で、生田流正派大師範の森雅笙先生のご指導の下、練習に励んでいます。

昨年度夏の県大会で優勝し、今年7月27日から行われる第43回全国高等学校総合文化祭佐賀大会に

出場します。また、今年8月3日(土)に白山総合文化センター(しらさぎホール)で県大会が行われ、八連覇を目指して頑張っています。

ハンドボール部

現在部員は、男子24名、女子25名、計49名で活動をしています。限られた時間と場所でも効率よく質の高い練習をきびきびと行い、元気よく声を出して楽しんでプレーすることを心がけています。

昨年度は男女ともこぞという試合で1点差に泣きましたが、観ていた人たちによく頑張ったねと声をかけて頂ける試合が増えてきました。これからも「走れる進学校」を追い求め頑張ります。



ハンドボール部

ご注意ください

同窓会名鑑を作成するという名目で、調査ハガキが多くの同窓会員に郵送されております。往復ハガキ等で高額な名簿の購入を勧める等の手口です。これらは南高校同窓会とは一切関係はありません。正規の同窓会名簿は13年度に発行済みです。

進路状況

今年度卒業生の主な国立大学合格校は、難関大では、大阪大(1)、名古屋大(5)、神戸大(2)。ついで、ブロック大として千葉大(1)、お茶の水大(1)、金沢大(3)、名古屋工業大(7)、広島大(1)。比較的近場の地方国立大では信州大(4)、静岡大(1)、愛知教育大(3)、岐阜大(2)、三重大(28)、滋賀大(1)、となつています。また、主な公立大学合格校は、名古屋市立大(3)、京都市立大(1)、大阪府立大(1)、神戸市外国語大(1)、愛知県立大(3)、三重県立看護大(9)、となつています。

学部別の特徴では、「工学」の合格率比率が38.3%(昨年35.6%)と最も高く、例年のことながら本校の大きな特徴となつています。次いで、「看護」が15.9%(昨年9.1%)と大幅に伸び、昨年2位の「教育」12.1%(昨年19.7%)を抜きました。看護・医療系を目指す者が多かったことは今年度卒業生の大きな特徴でした。次に「文学・言語・国際文化」が9.3%(昨年9.1%)、「医学・医療・健康」と「理学」が4.7%で並んでいます。「農林畜産・生物・生命・環境」(昨年8.3%)と「経済・

経営・商学」(昨年5.3%)及び「法・政治」(昨年3.0%)はいずれも今年3.7%でした。全国的に文高理低傾向がここ数年続き、その間特に「経済・経営・商学」の人氣が高まつていましたが、今年はその人氣も落ち着きを見せた、ということができるでしょう。本校でも同様の変化が見られました。私立大学に比べて国立大学は、教育、就職環境に優れているため、多くの生徒が全国を視野に入れて出願を行つています。今年度は、センター試験受験者数が昨年より8名増加して313名となりましたが、国立

延べ受験件数は34件減少して325件でした。過去2年間、国立延べ受験件数は増加してきましたが、今年度は減少に転じました。センターテストの結果が、出願数減少の一因であったのではないかと考えられます。私立4年制大学の延べ受験校数は1794校、受験者数は292名でした。平均併願校数は1794/292=6.14校(昨年6.32校)と昨年に並みでした。受験形態別にみると、一般入試型の受験数は延べ1168校(昨年延べ1080校)と88校増加しました。一方、セ

ンター型の受験数は延べ489校(昨年522校)と昨年から減少しています。なお、一般入試型にはセンター併用型も含まれており、その数はおよそ220校です。延べ受験校数1794校中何らかの形でセンターを利用しているのは、およそ710校、39.6%と高い割合を示しています。各大学がセンターを利用した受験方式や併願パターンを多様化させており、受験料の割引や、減額制度も拡大させています。

受験述べ1794校中の総合格数は616校であり、合格率は616/1794=34.3%でした。全合格数に占める学部別の割合を見ると、「工学」が24%と最も多く、次に「文学・言語・地歴・国際文化・心理」の20%が続いています。ここ数年、本校では年度によって入れ替わることはありますが、この2つの系統が上位2位を占めています。ついで「看護」(8.4%)、「医学・医療・健康」(7.8%)と医療看護系が続きます。昨年10.9%と3位にあつた「経済・経営・商」が今年度は7.5%と第5位になっています。その原因となつた、今春卒業生の医療看護系人氣は特筆すべきものがあります。又、ここ数年続いていた全国的な「文高理低」傾向が今年度は変化を見せ、その中でも特に高かつた経済系人氣が本校においても落ち着いてきた、と考えることもでき

きます。次に「理学」(7.3%)、「社会・福祉・心理・人間情報」(6.8%)、「教育」(6.7%)と続き、さらに、「政治・法」(4.1%)、「薬」(3.2%)、となつています。最後に「家政」(2.4%)、「農・林・畜産・生物・生命・環境」(1.8%)、「芸術」(1.6%)、「体育」(1.6%)、「水産・商船」(0.3%)となりました。

合格数の最も多かった「工学」系の大学別合格数を見てみると、名城大が27と最も多く、ついで中京大22、愛知工業大19、中部大16、大同大15と全て中部圏の大学でした。中部圏以外で例年合格数が多い立命館大は今年わずか4件で同志社大と同数でした。因みに南山大は5となつています。次に「文学・言語・地歴・国際文化・心理」系の大学別合格数を見てみましょう。中京大26件が最も多く、ついで名古屋外国語大の16件、皇學館大12、南山大、愛知大が共に11となつています。その後、愛知淑徳大8、愛知学院大7、相山学園大6となり、工学系と同様に中部圏の大学ばかりです。関西では、立命館大が4件、関西大3、同志社大と関西学院大が共に1となりました。

学部を問わずに大学別の受験件数(1人が同じ大学を複数受けている場合も全て数える)をみると、名城大240件(昨年231)が最も多く、昨年トップの中京大(昨年273)が221件となつて順位が入れ替わりました。次いで南山大116件(昨年158)、愛知大99件(昨年119)。ここまでの順位は昨年と大きくは変わっていませんが、今年次に来たのは中部大76(昨年53)、大同大71(昨年29)でした。主に理系の生徒が安全を期して数多く受験したのと思われまふ。昨年5位であつた立命館大(昨年80)は71件で大同大と同数となり、昨年5位であつた名古屋外国語大(昨年80)は33件と大幅に数を減らしました。全国的な私立大学による合格者数の絞り込みは今年も続き、厳しい入試が続いています。難関大から中堅大へ、さらにより合格可能性の高い大学へと受験者が流れる「安全志向」が本校にも見られたよう



(進路指導部 服部圭一)

2019年度入試 大学等合格者数 (過年度生含む)

| 大学名 | 合格 |
|--------|----|
| 国立大学 | |
| 北海道 | 1 |
| 埼玉 | 1 |
| 千葉 | 1 |
| お茶の水女子 | 1 |
| 富山 | 4 |
| 金沢 | 4 |
| 福井 | 4 |
| 信州 | 5 |
| 静岡 | 1 |
| 愛知教育 | 3 |
| 名古屋 | 5 |
| 名古屋工業 | 7 |
| 岐阜 | 2 |
| 三重 | 31 |
| 滋賀 | 1 |
| 京都 | 1 |
| 大阪 | 2 |
| 大阪教育 | 1 |
| 神戸 | 2 |
| 奈良女子 | 1 |
| 鳥取 | 4 |
| 広島 | 1 |
| 山口 | 1 |
| 熊本 | 1 |
| 国立大学計 | 85 |

| 大学名 | 合格 |
|----------|----|
| 公立大学 | |
| 会津 | 1 |
| 富山県立 | 1 |
| 福井県立 | 1 |
| 都留文科 | 1 |
| 公立諏訪東京理科 | 1 |
| 静岡県立 | 1 |
| 愛知県立 | 3 |
| 名古屋市立 | 3 |
| 三重県立看護 | 9 |
| 京都市立芸術 | 1 |
| 京都府立 | 1 |
| 大阪府立 | 1 |
| 神戸市看護 | 1 |
| 神戸市外国語 | 1 |
| 兵庫県立 | 1 |
| 県立広島 | 1 |
| 広島市立 | 1 |
| 愛媛県立医療技術 | 1 |
| 高知県立 | 1 |
| 高知工科 | 2 |
| 北九州市立 | 1 |
| 公立大学計 | 34 |
| 私立大学 | |
| 酪農学園 | 2 |
| 文京学院 | 2 |

| 大学名 | 合格 |
|--------|----|
| 千葉工業 | 3 |
| 青山学院 | 1 |
| 桜美林 | 1 |
| 北里 | 1 |
| 慶應義塾 | 2 |
| 駒澤 | 1 |
| 芝浦工業 | 1 |
| 順天堂 | 2 |
| 専修 | 1 |
| 創価 | 5 |
| 大東文化 | 1 |
| 拓殖 | 1 |
| 中央 | 1 |
| 帝京 | 1 |
| 東海 | 3 |
| 東京電機 | 1 |
| 東京理科 | 3 |
| 東洋 | 2 |
| 法政 | 2 |
| 東京都市 | 1 |
| 明治 | 1 |
| 明治薬科 | 1 |
| 立教 | 1 |
| 神奈川 | 1 |
| 金沢工業 | 1 |
| 岐阜聖徳学園 | 4 |

| 大学名 | 合格 |
|--------|----|
| 岐阜医療科学 | 1 |
| 静岡産業 | 1 |
| 常葉 | 2 |
| 修文 | 1 |
| 名古屋学芸 | 4 |
| 愛知 | 26 |
| 愛知学院 | 15 |
| 愛知医科 | 1 |
| 愛知工業 | 23 |
| 愛知淑徳 | 13 |
| 愛知学泉 | 3 |
| 金城学院 | 9 |
| 椋山学園 | 21 |
| 大同 | 17 |
| 中京 | 68 |
| 至学館 | 1 |
| 中部 | 32 |
| 同朋 | 2 |
| 名古屋音楽 | 1 |
| 名古屋外国語 | 16 |
| 名古屋学院 | 7 |
| 名古屋経済 | 1 |
| 名古屋女子 | 11 |
| 藤田医科 | 17 |
| 南山 | 37 |
| 日本福祉 | 5 |

| 大学名 | 合格 |
|---------|----|
| 名城 | 53 |
| 東海学園 | 7 |
| 名古屋文理 | 1 |
| 愛知工科 | 1 |
| 人間環境 | 1 |
| 皇學館 | 28 |
| 鈴鹿医療科学 | 43 |
| 四日市 | 3 |
| 四日市看護医療 | 33 |
| 京都産業 | 3 |
| 同志社 | 11 |
| 同志社女子 | 1 |
| 立命館 | 34 |
| 龍谷 | 8 |
| 大阪芸術 | 1 |
| 大阪工業 | 3 |
| 大阪産業 | 2 |
| 大阪電気通信 | 3 |
| 関西 | 14 |
| 近畿 | 19 |
| 摂南 | 2 |
| 桃山学院 | 2 |
| 関西学院 | 11 |
| 甲南 | 1 |
| 武庫川女子 | 1 |
| 高野山 | 1 |

| 大学名 | 合格 |
|-------------------|-----|
| 岡山理科 | 1 |
| 広島国際 | 1 |
| 私立大学計 | 671 |
| 短期大学 | |
| 三重短大 | 6 |
| 大分県立芸術文化短大 | 1 |
| 創価女子短期 | 1 |
| 名古屋短大 | 1 |
| 名古屋女子大短大部 | 1 |
| 高田短大 | 1 |
| 短期大学計 | 11 |
| 専門学校等 | |
| 東海医療技術専門学校 | 1 |
| ユマニテク調理製菓専門学校 | 1 |
| 大原簿記情報医療専門学校 名古屋校 | 1 |
| 東京IT会計専門学校 名古屋校 | 1 |
| 大原学園 | 1 |
| 名古屋工学院専門学校 | 1 |
| 東海工業専門学校 | 1 |
| 名古屋ECO動物海洋専門学校 | 1 |
| 四日市工業高等学校専攻科 | 2 |
| 近畿大学工業高等専門学校 | 2 |
| 専門学校等計 | 12 |



先生お元気ですか？

長年本校に勤務され、退職または転勤された先生方にアンケート形式の質問に答えていただきました。

横井尚子 先生

南高を転勤されて何年ですか？

南高校には新規採用として平成24年4月に赴任し、担任として4年間務めさせていただきました。

部活動では女子バスケットボール部の顧問として部員達と充実した日々を過ごしました。

平成28年4月に津東高校に転勤して、今年で4年目を迎えています。

現在のお勤め先についてお聞かせください。

津駅近くに立地する津東高校に勤務しています。私服の学校なの

で、転勤当初はとても新鮮でした。

毎日ジャージの私とは反対にお洒落に敏感な生徒がたくさんいます。優しい生徒が多く、落ち着いた雰囲気

の学校です。

近況をお聞かせください。

津東高校では、3年間担任を務め、現在は生活指導部に所属しています。南高校から引き続き女子バスケットボール部の顧問として

も日々奮闘しています。

平成31年1月に行われた新入人会ではチームの目標であったベスト8に入ることができました。新

チームになり、また新たな目標に向かって精進しているところです。南高時代の印象に残っていることは何ですか？

学年の生徒達との日々の関わりや行事での盛り上がりは今でも鮮明に思い出すことができます。また、初めて3学年持ち上がり、皆と卒業式を迎えることができた感動は生涯忘れることはないと思います。

バスケットボール部の部員達とは日々の練習や合宿、大会と多くの時間を過ごしました。彼女達と涙したり喜び合った経験が今の私の力になっています。

南高及び南高生、同窓会生にメッセージをお願いします。

人生は一度きりなので、やりたいうことを思い切って挑戦して下さい。応援しています！

令和元年度 四日市南高校全体同窓会



山口知子 (28期左) & 雅子 (右)

【日時】令和元年8月10日(土) 午後3時より

【会場】四日市都ホテル 3F 鈴鹿の間

■平成元年卒業の28期生が、令和最初の懇親会の幹事を務めます。懇親会では私たちの同級生で、ピアニストの山口知子さんと双子の姉が奏でるピアノデュオ演奏をお楽しみいただきます。息の合った演奏を是非ご堪能ください。

【演奏者紹介】

山口知子(南高校卒業生)、山口雅子(四日市高校卒業生)名古屋音楽大学在学中より双子の姉妹としてピアノデュオを結成。全国のコンクール、演奏会にて入賞多数。現在、毎日文化センター講師。国際ピアノデュオ協会、三重新音楽家協会会員

■第1部 総会

■第2部 懇親会

(会費 社会人3,000円、学生2,000円)

【第28期同窓会】

日時：令和元年8月10日(土) 受付17:30 開宴18:00

会場：四日市都ホテル

会費：7,000円

恩師の先生をお呼びして開催いたします。

第11回 四日市南高校東京同窓会

【日時】令和元年10月12日(土)

【会場】未定

■受付開始

■懇親会

■会費6,000円(学割3,000円)

【お申し込み方法】

四日市南高校同窓会HP、第11回四日市南高校東京同窓会の参加申し込みフォーマットよりお申し込みください。

【お問い合わせ先】

四日市南高校同窓会理事14期生 山路みのる までお願いします。
TEL.090-3255-2644

同窓会役員名簿

【同窓会役員】

| | | |
|-----|-------|-------|
| 会長 | 早野憲一郎 | (6期) |
| 副会長 | 山路 熟 | (14期) |
| 書記 | 大日方敏之 | (15期) |
| | 水谷正美 | (23期) |
| 会計 | 小柳秀樹 | (20期) |
| | 川村公博 | (25期) |
| 監事 | 浦田 治 | (19期) |
| 理事 | 矢田 智 | (5期) |

【学校側】

| | | |
|------|-------|-----|
| 顧問 | 加藤幸弘 | 学校長 |
| 特別会員 | 伊藤明日奈 | 教諭 |
| | 川崎千佳子 | 〃 |
| | 小林 仁 | 〃 |
| | 鈴木正司 | 〃 |
| | 出口宜是 | 〃 |
| | 西 綾 | 〃 |
| | 服部圭一 | 〃 |
| | 廣田育男 | 〃 |
| | 藤端千絵 | 〃 |
| | 藤波 厚 | 〃 |
| | 村野玉紀 | 〃 |

【連絡先】

〒510-8562 四日市市大字日永岡山4917
三重県立四日市南高等学校同窓会事務局
TEL.059-345-3177・3178 FAX.059-345-9549
http://www.4nan.jp/dousou/ E-mail ds@4nan.jp

第7回 四日市南高校同窓会ゴルフ大会のご案内

【日時】令和元年11月6日(水)

【場所】グレイスヒルズゴルフ倶楽部

〒512-1211 四日市市桜町池之谷2230 TEL.059-327-1110

※詳細は四日市南高校同窓会ホームページに掲載します。

【お申し込み方法】

四日市南高校同窓会HPより第7回ゴルフ大会の申込み用紙(PDF)をプリントアウトし、FAX(059-359-3021)でお申し込みください。同学年3名そろえば、学年対抗戦にも参加できます。

【お問い合わせ先】

四日市南高校同窓会ゴルフ大会事務局

幹事 14期生 山路みのる TEL.090-3255-2644 / 幹事 15期生 矢田まさき TEL.090-3309-3181

27期生の皆様より4万円の寄付金を頂き、
書の購入に充てさせていただきました。

| | | | | | | | | | | | | | | |
|---------|---------|-----------|------|--------|-----------|---------|------|-------|------|------|------|--------|--------|-----------|
| 事務 | 英語 | 数学 | 地歴 | 国語 | 事務 | 英語 | 数学 | 地歴 | 国語 | 事務 | 英語 | 数学 | 地歴 | 国語 |
| 川戸浩司 | 今村秀之 | 宮田佳代子 | 福井彰子 | 田中彰彦 | 伊藤将光 | 佐藤匡志 | 安保俊作 | 矢田真紀子 | 園田麻衣 | 竹尾宗久 | 須崎昌人 | 桜井明博 | 中江幸子 | 中村有希 |
| 四日市四郷高校 | 四日市工業高校 | いなべ総合学園高校 | 朝明高校 | 四日市西高校 | 四日市中央工業高校 | 四日市商業高校 | 尾鷲高校 | 菟野高校 | 桑名高校 | 神戸高校 | 北星高校 | 四日市西高校 | 四日市西高校 | いなべ総合学園高校 |

教職員異動

平成三十一年度(敬称略)

【退職】

津田憲成
岡本明子

【転出】

権部洋平
増岡俊亮

【転入】

稲垣良二
清水保治

【転出先】

石薬師高校
紀南高校

【転入先】

川越高校
いなべ総合学園高校